

自転車利用実態定点調査報告

平成27年 8 月

(一財)日本自転車普及協会

調査目的 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

調査日時 平成27年 7 月29日
[午前]9:00~10:00

調査場所 ・ 白金幼稚園前 (庭園美術館西交差点(首都高速目黒線直下)から 70m 程の上り坂)

概要 ・ 調査対象(車道線:目黒通り上り 4 車線及び歩道:幅員 3.1m
[一部歩道橋橋脚部分 1.5mあり])
調査対象外(反対側上り歩道)



	歩道		←	対象外
上り線車道	←直進・右折レーン		}	対象エリア
	←直進レーン			
	←左折レーン			
	←左折レーン			
	歩道	↑		
		白金幼稚園		

調査事項 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用状況調査票

No.	走行空間			車種		乗次		危険運転行為					
	歩道	車道左側	車道中央	普通	電動	乗車	降車	肩に荷物	ハンドルに荷物	片手運転	脇見運転	過積載	子乗せ後部席に荷物
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													

調査日時	年	月	日	時
大気				
調査時間				

＜調査票＞

[コメント]

◎走行空間においては、車道左側走行率は、14%であり、また、車道中央走行率は、24%、依然、歩道を通行する自転車が、全体の約 6 割を占めている。

◎危険運転行為(違反行為を含む) は、肩に荷物(12 件)・ハンドルに荷物(7 件)・片手運転・脇見運転(各2件)・過積載・子乗せ後部席に荷物(*1)(各1件)の順となっている。

*1 子乗せ後部席に荷物を掛ける事は、もし、気が付かない間に落下して、歩行者や自転車等に迷惑(通行障害・事故起因等)を及ぼしかねないので、基本、止めた方が望ましい。

【総合】

今回は、前回に調査したデータ及び下り地点(自転車総合ビル前の 7/28 午前)とのデータについて以下の項目について比較してみた。

・車道左側走行率

今回(14%)に対し、前回 (21%)より、3 割ほど下降である。

上り地点の白金(以下、上り地点と呼称・14%)に対し、下り地点の自転車総合ビル前(以下、下り地点と呼称・25%)より、4 割強 下降である。

今回、歩道走行者が増加したためと考慮される。

・子乗せ自転車

今回(15%)に対し、前回(17%)と同程度の水準
上り地点(15%)に対し、下り地点(14%)と同程度の水準

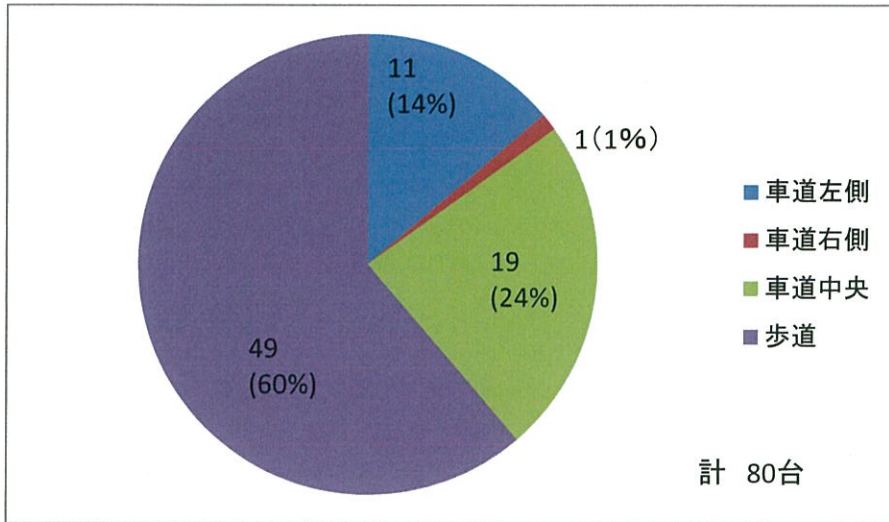
・電動自転車

今回(34%)に対し、前回(27%)より 2 割強上昇
上り地点(34%)に対し、下り地点(16%)より 5 割強上昇
上り地点故の電動自転車の使用割合が増加したためである。

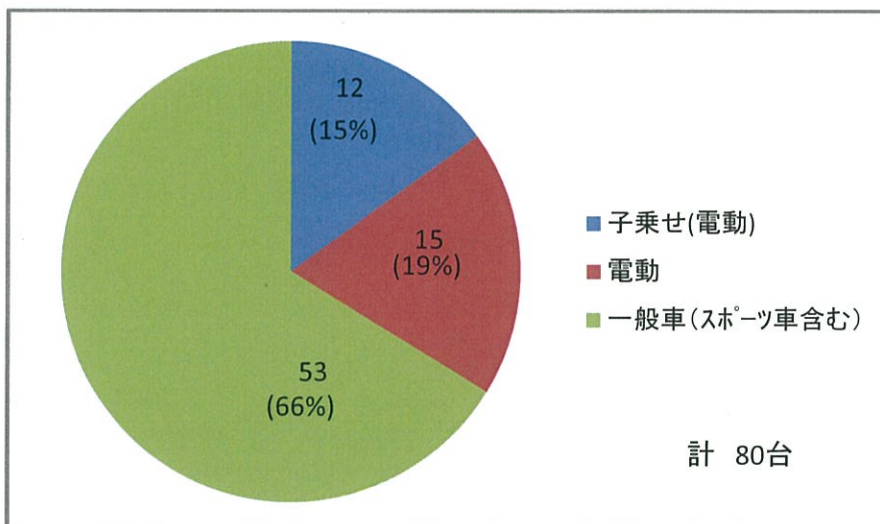
・危険運転行為 上り地点の [肩に荷物・ハンドルに荷物・片手運転] に対し、
(違反行為を含む) 下り地点では [肩に荷物・脇見運転・過積載・子乗せ後部席に
荷物] と、共通項目は、肩に荷物だけとなっている。

なお、中央走行者については、依然として電動自転車を使用していない。

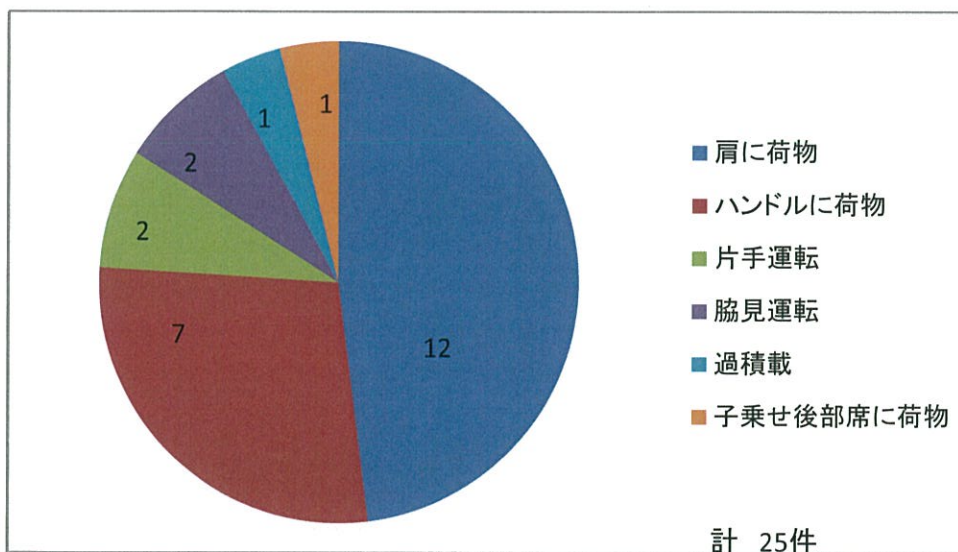
さらに、車道中央走行が多かった理由も、前回以前から同様に、上り車線先の庭園美術館西交差点において、歩行者横断帯中央にて左折道路と直進道路が分断されており、直進する利用者は、同交差点のかなり手前から 道路中央を走行していたが、4 車線での中間(両隣が 2 車線)走行のため車両に挟まれてながらと、かなり危険な走行を強いられている感が窺えた。



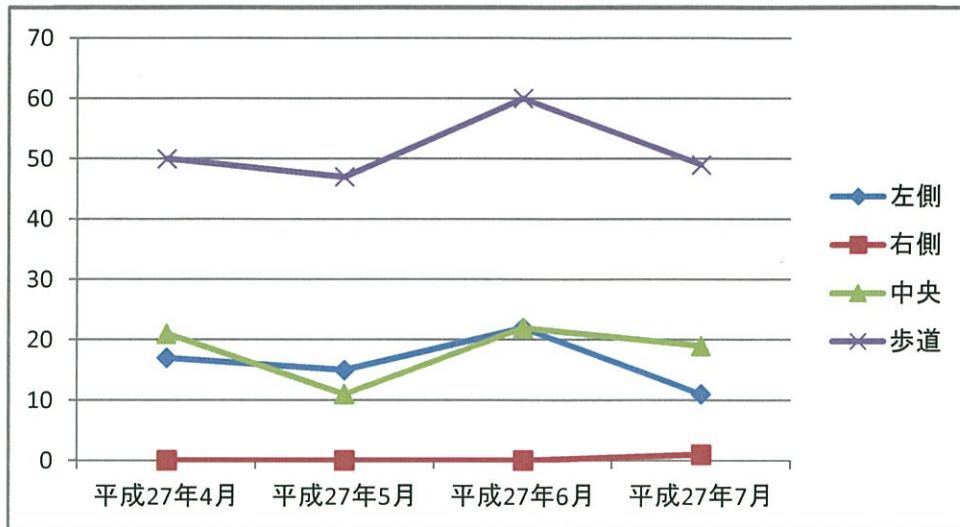
走行空間



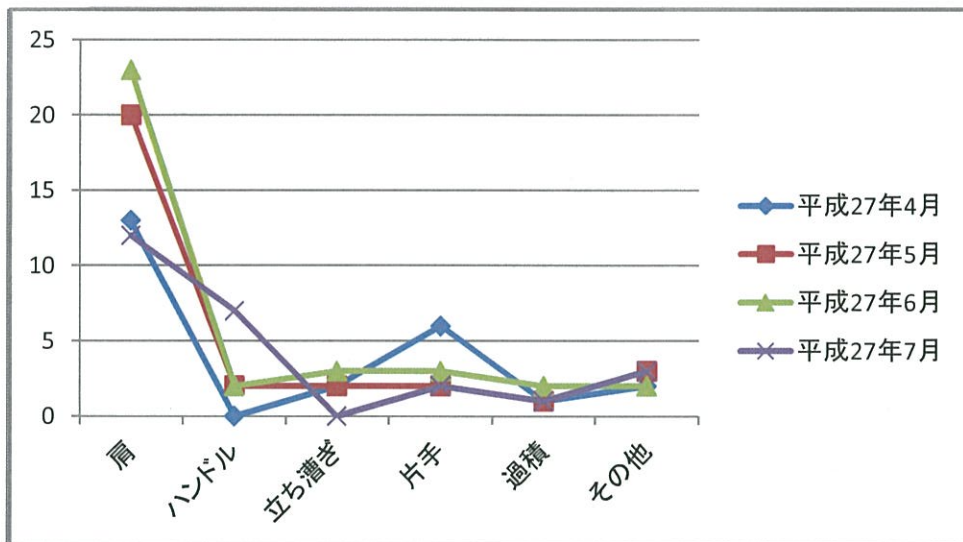
車種



危険運転行為 (違反行為を含む)



走行空間 (台)



危険運転行為 (違反行為を含む) (件数)